

## 新展示

# 西田幾多郎旧宅(京都・田中上柳町の借家)書斎床の間

## 2023年3月28日(火)～公開!



新展示・書斎床の間



在りし日の書斎床の間 (2016年撮影)  
京大文学研究科京都学派アーカイブ提供



京都田中上柳町の借家 (2016年撮影)  
京大文学研究科京都学派アーカイブ提供

### ■京都・田中上柳町の借家

西田幾多郎が京都大学赴任後に住んだ、2つ目の借家。大正元(1912)年幾多郎42歳～大正11(1922)年幾多郎52歳までの10年間を過ごした。この間、幾多郎は京都大学で教授に昇任し、『自覚に於ける直観と反省』を出版するなど、より一層独自の思想を深め名声を高めた。一方で家庭的な不幸が相次ぎ、妻・寿美は脳溢血で倒れ寝たきりに、長男・謙は病気で急逝し、幼い娘たちは病気を繰り返した。次男・外彦が「父〔幾多郎〕にとっても私にも最も思い出の多い家」と回想する、重要な場所である。

平成28(2016)年まで京都に現存していたが、解体時に保存されていた部材を使って、西田哲学館展示室内に床の間部分が復元される。

場所:哲学館 展示室2階エレベーターホール

料金:観覧料 一般300円(20名以上の団体250円)、高齢者200円、高校生以下無料、

障害者手帳をお持ちの方および介助者1名無料

休館日:月曜日(祝日の場合は翌平日)、年末年始、メンテナンス期間

観覧時間:9時～17時(入室は16時30分まで)

### ■公開記念講演会

#### 「西田幾多郎旧宅「床の間」復元 もう一つの骨清窟をめぐる」

展示監修をされた福井工業大学・市川秀和教授は、西田幾多郎の住まいについて長年調査・研究を続けてこられました。この旧宅解体から復元まで、また西田家の暮らしについて、詳しくお話いただきます(要申込)。

講師:市川秀和(福井工業大学教授)

日時:4月22日(土) 13:30～14:30 [ホール・無料]

\*見学会(希望者のみ)14:40～15:00 [市川教授の解説付・要観覧料]